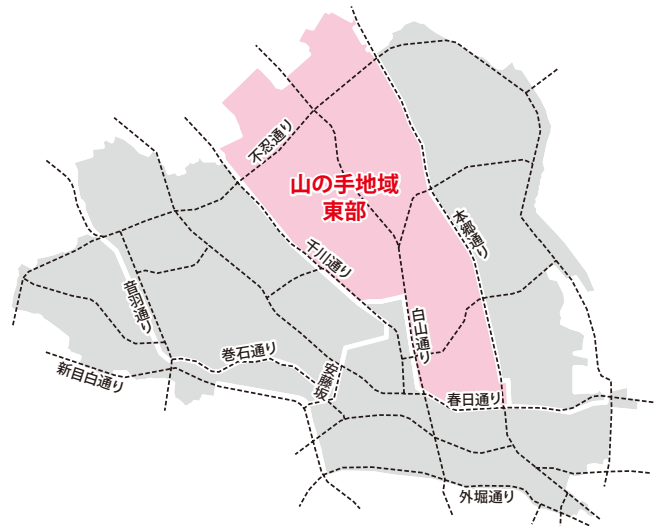


5-3 山の手地域東部

(1) まちの現況と主な課題

1) 生活利便性をさらに高める生活拠点の形成

- 生活拠点である白山駅周辺は、地域住民の生活に密着した商店街が形成されていますが、白山上交差点周辺と白山下交差点周辺の賑わいが連携し、生活の利便性をさらに高める必要があります。
- 春日通りや白山通り、本郷通りなどの主要幹線道路沿道は主要ネットワーク軸として、特に建築物の低層階において活力や賑わいをもつ施設の立地が必要です。



2) 良好な住環境の保全と形成

- 西片一・二丁目、白山四丁目、本駒込六丁目及び千石二丁目には、閑静な低層住宅市街地が広がっています。今後もこの良好な住環境を保全する必要があります。
- 本郷五・六丁目、白山一・二丁目、本駒込一丁目及び千石一・四丁目周辺には木造住宅が密集している地区があり、住環境や防災面で改善が必要です。
- 千川通り沿道は、商業・業務施設の集積の見られる小石川一・二丁目を除くと、住宅と工場が混在した市街地となっています。住宅と工場の共存を図るため、産業活動に配慮した住宅立地や地域コミュニティの形成が必要です。

- 本郷4～6丁目 ●西片1～2丁目 ●向丘1丁目
- 白山1～5丁目 ●本駒込1～2、6丁目 ●千石1～4丁目

3) 閑静で良好な住宅地や大規模な公園・庭園などを結ぶルートの景観形成

- 閑静で良好な住宅地や教育施設など地域の魅力となる資源が、変化のある地形の中に広がるとともに、六義園や小石川植物園など大規模な公園・庭園が緑豊かな景観を形成していることが



生活拠点の白山駅周辺



住工共存市街地（千川通り沿道）

特徴となっています。今後は、これらを結ぶルート緑化や、主要幹線道路及び生活幹線道路沿道の景観形成などを進めることが望まれます。

(2) 将来の姿

○山の手地域東部全体の将来の姿は、『大規模緑地や閑静な住宅地を中心に豊かな緑に囲まれた、低層から中層の住宅市街地を基本としたまち』とし、拠点や特徴となる地区などについての将来の姿を、次のように設定します。

- 白山駅周辺は、本駒込駅周辺から白山下交差点周辺にかけて、日常の買い物や散策、周辺寺社への参拝など様々な人々で賑わうまち
- 不忍通り、白山通り、本郷通りをはじめとする主要幹線道路や生活幹線道路沿道は、活力ある都市活動がある中で、まち並みは統一し沿道緑化が進められ美しい道路景観が形成されているまち
- 西片一・二丁目や白山四丁目、本駒込六丁目、千石二丁目には閑静で良好な低層住宅市街地が広がり、六義園や小石川植物園などまとまった緑が市街地に潤いを与えているまち
- 本郷五・六丁目や白山一・二丁目、本駒込一丁目、千石一・四丁目を中心に防災まちづくりが進み、生活道路など身近な基盤整備が進むまち
- 千川通り沿道は、職住が一体となった工場とともに住宅が立地する良好な住工共存市街地が形成されているまち
- 六義園周辺、菊坂を中心とした本郷界隈、白山駅周辺の寺町や路地のある界隈などにおいて、地域特性や歴史を生かした特色ある景観形成が進められているまち

(3) まちづくり方針

1) 拠点のまちづくり

- 白山駅周辺は、日常生活の利便性を高める商業施設が集積する生活拠点として、高層の拠点商業地を形成します。
- 本駒込駅周辺から白山下交差点周辺にかけて、歩行空間の快適性を高め、白山駅周辺の商店街を中心に、拠点商業地として賑わいのある商業空間を形成します。

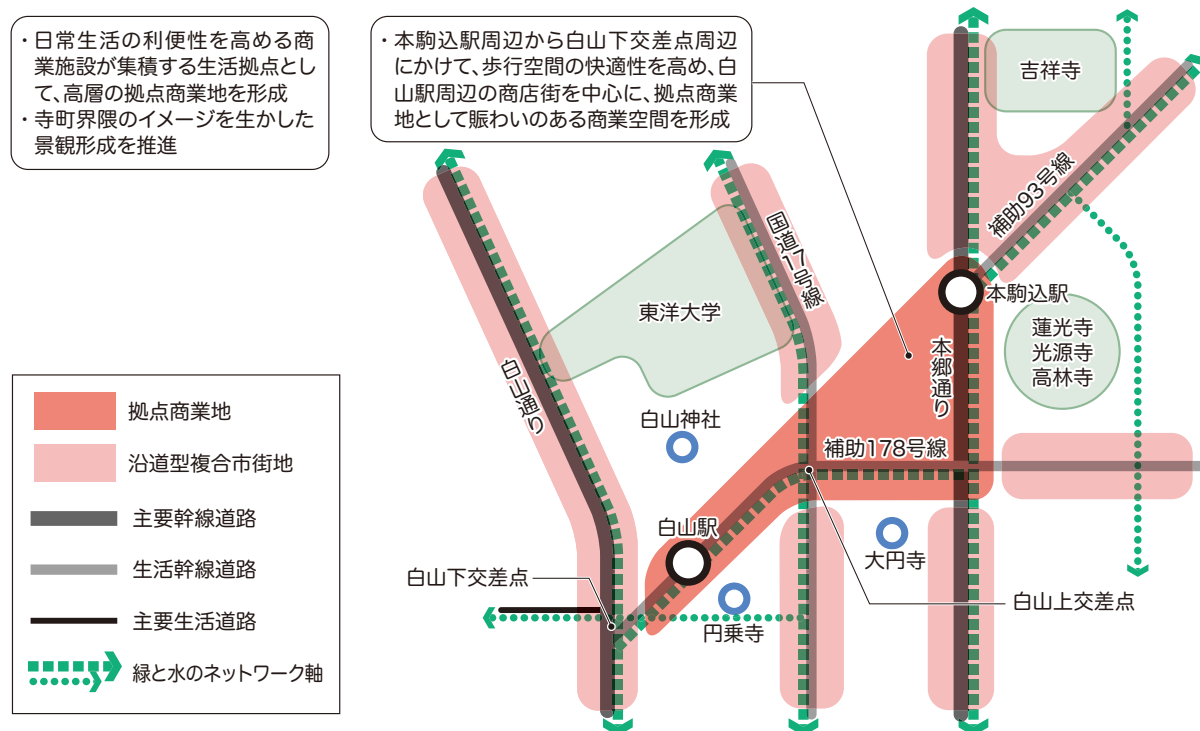


菊坂（旧伊勢屋質店）



あじさいまつり（白山神社）

図5-6 白山駅周辺のまちづくり方針図



2) 主要幹線道路や生活幹線道路沿道のまちづくり

- 春日通り北側沿道と都心地域寄りの白山通りは、広域的な活力ある都市活動を支えるとともに、商業・業務施設が集積する高層の都心複合市街地を形成します。同様に、都心地域寄りを除く白山通り、本郷通り、不忍通り沿道は、高層の沿道型複合市街地を形成します。
- 白山二・三丁目、千石二丁目の千川通り沿道は、周辺の住環境に配慮し、職住一体の中高層の住工共存市街地を形成します。また、国道17号線沿道は、活力ある都市活動を支えるとともに、商業・業務が集積する中高層の沿道型複合市街地を形成します。
- 補助95号線沿道は、日常生活に密着した商店街の集積をはじめ様々な用途が複合する沿道として、菊坂下交差点より西側については中高層の沿道型複合市街地、東側については低中層の沿道型複合市街地をそれぞれ形成します。
- 東大前駅周辺から本駒込駅周辺までの本郷通り沿道においては、日常生活の利便性を高める商業施設などを集積し、沿道の賑わいを形成します。
- 春日通り、白山通り、本郷通り、不忍通り及び千川通りは、延焼遮断帯*を形成します。

3) 地区のまちづくり

①本郷周辺

- 本郷四～六丁目は、菊坂界隈において歴史的に特徴があり魅力となる資源が多く、住宅中心の市街地が広がっており、この環境を生かした良好な低中層の住宅市街地を形成します。

- 本郷五・六丁目は、建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性の向上を図ります。

②西片、向丘周辺

- 西片は、住宅地内の斜面緑地などの緑を保全し、地形に縁取られた高台の閑静な低層住宅市街地として住環境を保全します。
- 向丘一丁目は本郷通りと国道17号線に挟まれ、教育施設や寺社が立地しており、この環境を生かした良好な低中層の住宅市街地を形成します。

③白山周辺

- 白山一・二丁目及び白山五丁目の一部の街区は、白山神社などの寺社が多く立地する住宅中心の市街地が広がっており、この環境を生かした良好な低中層の住宅市街地を形成します。
- 小石川植物園東側の白山四丁目は、小石川植物園に隣接する環境を生かした、閑静な低層住宅市街地として住環境を保全します。
- 白山一・二丁目は、建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性の向上を図ります。

④本駒込周辺

- 本駒込一・二丁目は、住宅中心の市街地が広がっており、この環境を生かした良好な低中層の住宅市街地を形成します。このうち不忍通りに面した本駒込二丁目の大規模開発地区は、オープンスペース^{*}や緑が豊かで良好な中高層の沿道型複合市街地を形成します。
- 本駒込六丁目は、大正時代に開発された住宅地が風格のある落ち着いた佇まいを感じさせる、閑静な低層住宅市街地として住環境を保全します。このうち、JR山手線に接する地区と不忍通りの沿道型複合市街地に接する地区については、良好な低中層の住宅市街地を形成します。
- 本駒込一丁目は、建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性の向上を図ります。

⑤千石周辺

- 千石一・三・四丁目は、住宅中心の市街地が広がる環境を生かした、良好な低中層の住宅市街地を形成します。
- 小石川植物園北側の千石二丁目は、小石川植物園に隣接する環境を生かした、閑静な低層住宅市街地として住環境を保全します。
- 千石一・四丁目は、建築物の耐震化・不燃化などにより、住環境の改善や住宅の防災性の向上を図ります。

4) 地域の魅力を生かすまちづくり

① 広がりのある魅力の空間づくり

- 白山駅周辺は寺院が多いことから、寺町界隈のイメージを生かした景観形成を進めます。また、本郷四～六丁目は、文京ふるさと歴史館と炭団坂、樋口一葉と縁の深い菊坂や法真寺、旅館など歴史を喚起させる資源のほか、路地や坂もあり、独特の雰囲気醸し出していることから、その趣を保全するとともに、界隈を特徴づけるまち並み景観を形成します。
- 小石川植物園西側及び南側の道路は、約16ヘクタールに及ぶ広大な緑空間であり、また東アジアの植物研究の世界的センターとして機能している小石川植物園の魅力を生かし、園内の緑と一体化した歩行空間の整備を進めます。
- 菊坂沿道や白山駅周辺、千石四丁目などの商店街は、地域住民の日常生活と密着した、賑わいのある商業空間を形成します。
- 地域内には、あじさいで有名な白山神社やシダレザクラで有名な六義園など花の名所があります。また極めて多くの種類の樹木や花を鑑賞できる小石川植物園があります。このような地域特性を生かし、花や緑を身近に感じられるまちづくりを進めます。

② 回遊性を高める魅力のネットワークづくり

- 地域内には、日本でもっとも古い植物園である小石川植物園、国指定の特別名勝である六義園、巢鴨大鳥神社に近接し千石四丁目の身近な公園となっている宮下公園など、市街地に潤いを与える資源が多くあります。このため、こうした資源を緑と水のネットワーク軸で結び、軸上の道路や宅地等において連続的な緑化を進めます。
- 春日局に由来する名称をもつ春日通り、片側3車線で中央分離帯の緑が美しい白山通りなど、地域においてシンボリックな通りとなる道路については、沿道の緑化や良好なまち並み景観の形成などを進めます。
- 菊坂は、樋口一葉旧居跡や一葉ゆかりの旧伊勢屋質店などの史跡が多いことから、整備にあたっては、歴史を踏まえた修景^{*}に努めます。また、菊坂下交差点から春日町交差点を結ぶルートとなる白山通りの春日周辺は、歩行空間の快適性向上に努めます。
- 白山・千石周辺一帯を対象に、歩行者等の安全性や快適性を重視した、コミュニティ道路^{*}の整備について検討します。

③ 魅力を生かす身近なまちづくり

- 地域内には、地域が主体となって取り組む大きなイベントとして、白山神社を会場にして開催される「あじさいまつり」などがあります。また、文の京（ふみのみやこ）ロード・サポート^{*}に基づく活動団体によって、文京学院大学女子高等学校周辺や御殿坂周辺などの道路を対象に美化活動が進められています。こうしたイベントや活動などを通じて、魅力を生かす身近なまちづくりをさらに進めます。

図5-7 山の地域東部のまちづくり方針図

